

平小だより

2024.9.2
川崎市立平小学校
9月号

ゴール=次へのはじまり

校長 松沢 隆

7月26日から8月11日までの17日間、パリ2024オリンピックが開催されました。時差の関係で、日本では深夜に行われた競技も多くありましたが、オンタイムでご覧になられた方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。日本は、金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個の計45個のメダルを獲得しました。選手のみなさんは、どの方もこのオリンピックの試合で勝つために、目標をもって何年間も練習を積んできたことと思います。もちろん「メダルを獲った」という目標を達成した喜びは私たちが想像する以上に大きかったことでしょう。しかし、メダルは目標であり、ゴールであったかもしれませんが、「そこで終止符をうつ」、「これでおしまい」ではないはずです。きっとオリンピックでの試合が終わった瞬間に、また次の目標、ゴールを設定して、取り組み続けていくことと思います。また、何年も前から準備を重ね、人生の多くの時間を費やし、臨んだオリンピックの試合が、数秒で終わってしまう選手もいたはずですが、しかし、この選手のみなさんも、今回のオリンピックでの試合は、自分の目標を達成するための通過点であり、引き続き努力を重ね、いつの日か目標を達成する日が来るはずですが。

さて、学校教育はどうでしょうか。教科のある単元が終わると、まとめのワークテストなどを行います。この学習で経験したこと、身に付けたこと、学んだことは、これで完結してしまうのでしょうか。子供が教室で一つの学習が終わったという意味は、これからの生活での学びがスタートすることだと考えます。また、一つの学びが、他の学習へと繋がったり、自分の学びが友達との学びへと繋がったりと、1+1が、5にも10にもなれるような感性をもてるように支援していきたいです。そして、獲得した学びは、貯金のように貯めこむのではなく、自分のため、友達のために、惜しみなく出せるような気持ち、感覚をもてるような環境も整えていかななくてはなりません。学校では、教科学習、行事などいろいろな教育活動に日々取り組んでいます。その一つ一つにはそれぞれ目標があり、ゴールがあります。しかし、その学習、その行事が終わった次の日からは、何事もなかったように忘れ去られてしまうのではなく、「ここからスタート」という意識をもって次に進めるように大人が導いていくことで、学びの継続はもちろんですが、「こうなりたい自分」「できるようになった自分」を実感できるはずですが。その積み重ねが、自己肯定感にも友達への共感的理解にも繋がっていくはずですが。平小の子供たち一人一人が、「自分なりの目標をもって毎日を過ごすこと」「友達と喜びを共有すること」が自然体でできるような集団を形成できるように取り組んでまいります。

長い夏休みが終わりました。9月からも今まで同様に、本校の教育活動についてお力添えをお願いいたします。

9月の予定

日	曜日	校庭	行事
1	日		
2	月		読書タイム 給食開始
3	火		たいらタイム
4	水		B日程、たいらタイム ALT(3・4年)
5	木		朝会 ALT(5・6年)
6	金		たいらタイム 懇談会(1~3年15時~、4~6年15時30分~) ALT(3年残)
7	土		
8	日		
9	月		読書タイム 読み聞かせ(4・5・6年) 巡回カウンセラー
10	火		たいらタイム
11	水	×	B日程 たいらタイム
12	木		集会 ALT(5・6年)
13	金		たいらタイム 委員会活動(前期反省) ALT(4年残) 寺子屋(視聴覚)
14	土		
15	日		
16	月		敬老の日
17	火		たいらタイム
18	水		B日程 たいらタイム
19	木		集会 ズーラシア遠足(2年) ALT(5・6年)
20	金		たいらタイム クラブ活動⑤(前期反省) ALT(3年残) 寺子屋(図書)
21	土		
22	日		秋分の日
23	月		振替休日
24	火		たいらタイム B日程4時間 個人面談① 代表委員会
25	水		たいらタイム B日程
26	木		B日程4時間 個人面談② 朝会 巡回カウンセラー いのちの授業(2年) 起震車体験(4年)
27	金		B日程4時間 たいらタイム 個人面談③ ALT(6年センター) 寺子屋(図書)
28	土		
29	日		
30	月		読書タイム 読み聞かせ(1・2・3年) B日程4時間 個人面談④